

視聴覚教育

楽しい授業に

視聴覚教材の活用

夏季実技講習会

本年度も八月二・三日を中心にして、現職教育各種の実技講習会が予定されている。

視聴覚関係では、カラーデンスケや編集機などを使って自作ビデオ教材を作るVTR実技講習会。

NHKアナウンサーを講師に招いてインタビュアやアナウンスの練習などをする校内放送講習会。

16ミリ映写機操作の認定証が取得できる視聴覚教育技術者養成講習会の計画がすめられている。



No. 94
発行日 94
発行 58市7.2
編集 広報委員会

VTR実技講習会

- ・ 8月2～3日の2日間 於 蓮尺小学校
- ・ つなぎどり、スタジオ、編集機使用などによる自作ビデオ教材づくり
- ・ 対象 各校希望される先生(社教関係含む)

初心者大歓迎

視聴覚実技講習会

- ・ NHKアナウンサーからインタビュアや上手なアナウンスの仕方を習う
- ・ 対象 各校の放送担当先生と児童、生徒一、二名

校内放送講習会

・ 八月五日 午前中
於 広幡小学校

視聴覚教育技術者養成講習会

- ・ 七月三十日・三十一日の二日間 於 働く婦人会館
- ・ 十六ミリ映写機に関する学科と実技
- ・ 対象 十六ミリ映写機操作認定証のない方

◎教研集会視聴覚部に三十六名。レポートの準備は早めに!!

生徒を生かす アナライザー

甲山中学校

彦坂寿子

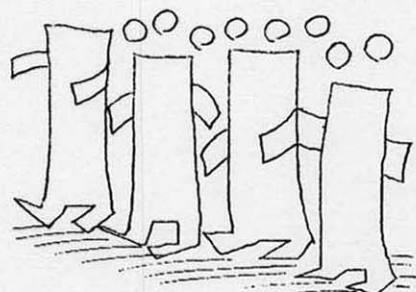
弥生時代と縄文時代の絵を見せる。生活の様子を比べさせるためである。また、資料集にある遺跡や遺物から、その変化をつかませる場面アナライザーを使ってみた。

食料・道具・住居・墓・社会の様子、の五項目を設け、そのうちの二つをアナライザーで選ばせ、調べ中①完了②質問③として、ひとり調べをさせてみた。

机間巡視をしながら最終的には、七十九%で打ち切った。普段の授業での判断が、いかに甘いものであったかを痛感させられた。アナライザーの使い方は、いろいろあるようだが、今のところ選択と作業進度を確かめることにしか使っていない。

これからも、視聴覚教室での授業を多くして、生徒も教師も機器に慣れ、もっと、もっと効果的なアナライザーの使い方を研究していきたい。

また、アナライザーで得た資料から生徒一人ひとりを生かしてやりたい。



今月の教材

000000016 ミリ映画000

小学校六年家庭科

「着る——気温や季節に合わせて」57年BK 51 20分

・被服が体温調節に果たす役割をつかませる。

小中学校保健体育科

「人口呼吸と心臓マッサージ」54年BK 8 16分

・人工呼吸法や心臓マッサージ法を分かりやすく解説する。



自作ビデオ作品ダビングベストテン

57年度

- ①市民センター (小4社) ⑥夏すすしい駒ヶ原 (小3社)
- ②田うえ (小2社) ⑦近くの商店がい (小3社)
- ③米づくり農家の新しい動き (小5社) ⑧事故をふせく (小4社)
- ④島のくらし (小3社) ⑨いちご作り (小3社)
- ④パンを作る人 (小2社) ⑨なす作り (小3社)

※ライブラリーでは、ビデオのダビングサービスを行っています。テープの背に、番組名、副題、学校名を記入して送って下さい。

配達サービスは、12日(火)まで、回収は翌週の18日(月)までです。なお、直接ライブラリーへ来られる場合は平常通りです。

